



学校だより 第19号

平成23年11月4日(金)
発行者：新宿区立
新宿西戸山中学校

朝の窓のぞいてみれば曇かな (1A:SKさん)
初夏の風湖面の枝を揺らして (1B:KKさん)
屋根の下子育て励む燕かな (1C:OAさん)
たんぽぽが道を彩り輝くよ (1D:TNさん)
雨降るもみんなの笑顔五月晴れ (1E:YMさん)



【蓼科山を映す女神湖】



【女神の像と女神湖】

日もあり、寒さに震えあがりました。

太陽が高く昇る時間になれば、徐々に気温も上がり、さわやかな初夏の風が吹き、澄み渡った女神湖の湖面に映った樹の影を揺らせます。ふと軒下を見上げると、ツバメの子が餌を催促して元気な鳴き声を上げており、親ツバメもひっきりなしに餌を運んでは、子の口に入れており、なんとも微笑ましい光景で、心が和みます。ハイキングの道の端にはタンポポが可憐な黄色い花を咲かせ、初夏の陽光を浴びて輝いており、足取りも軽く、歌も口を衝いて出てきます。2泊3日、天候はめまぐるしく変わり、苦労しましたが、入学して1



【雪の残る蓼科山を背景に運動を楽しむ生徒達】

前号に引き続き、5月に女神湖高原学園で行った第1学年移動教室の際に生徒が作った俳句を紹介します。

移動教室が行われたのは5月23～25日でしたが、標高2,500mを超える蓼科山の頂にはまだ雪が残り、朝晩の冷え込みは、都会から行った生徒たちには真冬を思わせる寒さでした。朝

から冷たい曇(みぞれ)が降る

月半、クラスの団結が強まり、仲間意識も高まり、冷たい雨など関係なく、晴れやかな「五月晴れ」のような笑顔が高原学園一杯あふれていました。

【本校の教育目標】

人間尊重の精神を基盤として、感謝と畏敬の念をもち、伝統文化を継承し、世界的視野に立って新しい社会・文化を創造する人間の育成を目指す。

○教養と品格を磨き、心身ともに自らを鍛える生徒〔鍛錬〕

○豊かな人間性や社会性を身に付け、自ら進んで社会に参画する生徒〔参画〕

○夢や希望の実現を目指し、自らの可能性を信じて挑戦する生徒〔飛躍〕

学芸発表会 展示部門終了 日ごろの学習の成果を確かめ合う

10月26日から28日まで、第1回学芸発表会作品展示会を開催しました。200名近い保護者・地域の方々にご来校いただき、生徒達の日ごろの学習の様子的一端を見ていただきました。多くの方々から、「日ごろの授業における真剣な学習の様子が分かりました」「3年間を通して、本当に多様な学習、体験活動を行っていることがよく分かりました」などの言葉を頂戴することができました。ありがとうございました。

3年総合的な学習の時間の展示では、修学旅行で体験したことへのレポート、文化体験作品(西陣織、真田紐、陶芸、扇絵付、象嵌、友禅染、舞妓体験など)、英語日記などを展示しました。さすが3年生と思わせる、深まり、完成度を感じさせる作品に感心させられました。





【京都名所：修学旅行で訪れた名所の模型と地図】

1年総合的な学習の時間の展示では、5月の移動教室での体験学習として行った手漉きの「岩田和紙」団扇、俳句などを展示しました。また、キャリア教育の視点に立った進路指導の一環として行った「20歳の私」も展示しました。誕生から今日までの成長を確かめ、将来の夢をはぐくんでいる様子がよく分かりました。



各教科の展示も充実していました。

国語科は、書写作品、俳句を展示しました。俳句については、前号から学校だよりに取り上げていますように、豊かな感性、のびやかな表現力を感じさせる作品が多くありました。

理科は、自由研究作品、日ごろの実験・観察レポートを展示しました。顕微鏡で観察した植物の細胞の図は、細部まで細かく描いている生徒が多く、授業への集中度の高さを証明していました。

美術は、1年のモダンテクニック、2年のパッケージデザイン、3年の明暗立体表現と、学年が進むにつれて、より高度な表現技法を学び、内面をいかに表現するか、生徒達が努力している様子がよく分かりました。



家庭科は、1年のファイルカバー、2年のエプロン、エコたわし、3年の保育玩具など、人間と

しての生き方にもかかわり、多様な知識・技能を学んでいることがよく分かりました。

技術科は、1年のミニストッカー、2年のセンサー回路、3年の鋳造キーホルダーと、実に多彩な学びを楽しみながら進めていることがよく分かりました。



部活動の展示も充実していました。書道部は、受付前の壁一面に、舞台発表で披露したパフォーマンス書道の作品（前号で紹介）を展示しましたが、迫力があり、多くの方からもおほめの言葉をいただきました。手芸部は、少ない部員が様々な趣向を凝らした作品を展示し、目を楽しませてくれました。美術部は、合作の名画の大模写絵をはじめ、陶芸、イラストなど多彩な作品で、日ごろの充実した活動ぶりを示しました。理科部の展示は、地味な部員による地味な活動を物語るひっそりとした展示でしたが、内容はキラリと光るものがあり、確かな活動の足跡を感じました。



【理科部の展示に見入る生徒達】

【書道部の力強い作品】

こうして、第1回学芸発表会は、生徒達に大きな自信を残して、無事に終わることができました。保護者、地域の皆様の温かい声援に心から感謝申し上げます。今後も、生徒達の活躍に目を向け、応援をよろしくお願いいたします。